

令和7年度における大阪府立病院機構の医療機器の購入契約

医療機器等 一式 仕様書リスト

仕様書No	一般名称	数量	納入先
01	手術室映像システム	1式	大阪国際がんセンター
02	プラズマガス滅菌装置	1式	大阪国際がんセンター
03	高周波凝固切開装置	1式	大阪国際がんセンター
04	気管支ビデオスコープ	1式	大阪国際がんセンター
05	超音波画像診断装置	1式	大阪国際がんセンター
06	PCAポンプ	1式	大阪国際がんセンター
07	ラピッド・インフューザー	1式	大阪国際がんセンター
08	高周波手術装置	1式	大阪国際がんセンター
09	3次元画像解析システム	1式	大阪国際がんセンター
10	HDカメラヘッド	1式	大阪国際がんセンター
11	血液浄化装置	1式	大阪国際がんセンター
12	全自動免疫染色装置	1式	大阪国際がんセンター
13	自動染色装置・自動ガラス封入装置	1式	大阪国際がんセンター
14	呼吸機能検査装置	1式	大阪国際がんセンター
15	電気手術器	1式	大阪国際がんセンター
16	セルソーター	1式	大阪国際がんセンター
17	ロータリーマイクローム	1式	大阪国際がんセンター
18	4K内視鏡システム一式	1式	大阪急性期・総合医療センター
19	自動免疫染色装置	1式	大阪急性期・総合医療センター

No01 手術室映像システム

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

手術室映像システム☒ 6 式

(構成内訳)

1-1	4K対応マトリックススイッチャ	1	式
1-2	システムコントローラ	1	式
1-3	タッチパネルモニタ	1	式
1-4	15型液晶モニタ	1	式
1-5	壁面モニタ		

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 4K対応マトリックススイッチャは、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 手術用モダリティ機器の映像信号用として、4K信号の映像入力出力ができる12G SDI端子を16個以上有すること。
- 1-2 5.項の壁面モニタ、既設の懸垂モニタへの表示および、既設の医用画像記録装置での記録画像の選択が可能であること。
- 1-3 インターフェースはRS-232C又は情報LAN端子を1個以上有すること。
- 1-4 画像を2分割、4分割表示することが可能で、4個以上の画面レイアウトプリセット機能を有すること。
- 1-5 手術室内既設AVラックに設置すること。

2. システムコントローラは、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 1.項の4K対応マトリックススイッチャの映像信号入力端子及び映像信号出力端子との接続をコントロールする機能を有すること。また3.項タッチパネルモニタにて操作が可能であること。
- 2-2 5.項の壁面モニタ、既設の懸垂モニタの表示の切替えを3.項タッチパネルモニタにて操作が可能であること。

- 2-3 入出力画像は3.項タッチパネル上にアイコン表示されること。画面表示切替え操作はアイコンのドラッグ&ドロップ操作またはタッチ操作で切り替え操作が可能であること。
- 2-4 分割表示の遠隔操作が可能で、2分割、4分割と分割表示方法の切り替え操作が可能であること。
- 2-5 システムのOSはMicrosoft社製Windows10 相当以上の機能を有すること。
- 2-6 システムのCPUは、Intel社製Intel Core™ i5-9500Tプロセッサ3.7GHz相当以上の性能、機能を有すること。
- 2-7 システムコントローラ本体の大きさは、W200mm、H200mm、D30mm以下で、手術室内壁面AVラックに設置が可能であること。
- 2-8 主記憶容量は8GB以上のメモリを有し、内蔵HDDは物理容量256GB以上の容量を有すること。
- 2-9 USBポートは2.0TypeAを2個以上有すること。
- 2-10 電源投入後、システムは15秒以内に起動し、全ての画面操作が可能であること。

3.タッチパネルモニタは、以下の要件を満たすこと。

- 3-1 手術室内既設AVラックに設置すること。
- 3-2 画面サイズは14型以上、解像度は1,920×1,080pixel以上の液晶TFTディスプレイであること。
- 3-3 映像入力端子はHDMI端子を1個以上を有すること。
- 3-4 USBポートはType-Cを有すること。USBポートは、指定された用途以外での使用を制限する、又は使用者が操作不可能な状態にすること。
- 3-5 2.項システムコントローラと接続し、1.項4K対応マトリックススイッチの外部操作が可能であること。

4.15型液晶モニタは、以下の要件を満たすこと。

- 4-1 手術室内既設AVラックに設置すること。
- 4-2 画面サイズは15型以上、解像度は1,920×1,080pixel以上の液晶ディスプレイであること。
- 4-3 映像入力端子はHDMI端子1個、VGA 端子1個、ビデオ（RCA）端子を1個以上有すること。
- 4-4 輝度は240cd、コントラスト比800:1以上であること。
- 4-5 75×75 mm / 100×100 mmのVESA規格に対応すること。

5.壁面モニタは、以下の要件を満たすこと。

- 5-1 手術室内壁面に設置すること。
- 5-2 画面サイズは50型以上、解像度は3,840×2,160pixel以上の4K液晶ディスプレイであること。
- 5-3 輝度390cd/m²以上のパネルであること。

- 5-4 映像入力端子は、4K（解像度3,840×2,160pixel）に対応したHDMI端子を2個以上有すること。

III その他

（機能、性能以外に関する要件）

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No02 プラズマガス滅菌器

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	プラズマガス滅菌器	1 台
-----	-----------	-----

以上、搬入・据付・配線・調整、バリデーションを含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. プラズマガス滅菌器本体は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 外形寸法は、W800mm、D1100mm、H1850mm以下であること。
- 1-2 本体重量は、450kg以下であること。
- 1-3 滅菌剤の過酸化水素をプラズマ化させる滅菌法であること。
- 1-4 滅菌サイクルのキャンセルを低減させるロードコンディショニング機能を有すること。
- 1-5 チャンバー容積は150リットル以上であること。
- 1-6 パススルー方式が可能なダブルドアタイプであること。
- 1-7 過酸化水素濃度をモニタリングできる機能を有すること。
- 1-8 手を使わずにチャンバードアを開閉できるフットパッドを有すること。

- 1-9 器材に合わせて選択できる4つの滅菌サイクルを有すること。
また最短の滅菌サイクルは25分以下であること。
- 1-10 滅菌剤の過酸化水素を濃縮する技術を有すること。
- 1-11 サイクル温度は55℃以下であること。
- 1-12 付帯設備は電源のみであること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。

- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No03 高周波凝固切開装置

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	高周波凝固切開装置	1	台
1-2	フットスイッチ	1	個
1-3	イリゲーター	1	個
1-4	イリゲーター用IVポール	1	個
1-5	専用カート	1	台
1-6	接続ケーブル	1	個
1-7	シングルフットスイッチ	1	個

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 高周波凝固切開装置は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本体周波数は4MHzの高周波を有すること。
- 1-2 高周波出力は最大80Wを有すること。
- 1-3 出力の変更はダイヤル式であり、操作性が簡便であること。
- 1-4 負荷抵抗値は脳神経外科に最適な50Ωが採用されていること。
- 1-5 発振方式は水晶発振であること。
- 1-6 占有周波数帯幅又は周波数変動幅は±33KHz以内であること。
- 1-7 負荷と電極の結合方式は誘導結合であること。
- 1-8 装置内電源ろ波器を有すること。
- 1-9 無変調搬送波状の妨害波の発生が無いこと。
- 1-10 無変調搬送波状以外の変動妨害波の発生が無いこと。
- 1-11 モノポーラとバイポーラがワンタッチで出力切替可能であること。

2. モノポーラ機能は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 モノポーラ切開機能は、80Wの最大出力を有すること。
- 2-2 モノポーラ切開機能は、1W刻みの細かな出力調整が可能であること。
- 2-3 モノポーラ凝固機能は、80Wの最大出力を有すること。
- 2-4 モノポーラ凝固機能は、1W刻みの細かな出力調整が可能であること。

- 2-5 モノポーラ切開・凝固機能は、フットスイッチの踏み替えのみで変更可能であること。
- 3.バイポーラ機能は、以下の要件を満たすこと。
 - 3-1 バイポーラ切開機能は、80Wの最大出力を有すること。
 - 3-2 バイポーラ切開機能は、1W刻みの細かな出力調整が可能であること。
 - 3-3 バイポーラ凝固機能は、60Wの最大出力を有すること。
 - 3-4 バイポーラ凝固機能は、1W刻みの細かな出力調整が可能であること。
 - 3-5 バイポーラ切開・凝固機能は、フットスイッチの踏み替えのみで変更可能であること。
- 4.イリゲーターは、以下の要件を満たすこと。
 - 4-1 20段階の出力調整が可能であること。
 - 4-2 出力の変更はダイヤル式であり、操作性が簡便であること。
- 5.フットスイッチは、以下の要件を満たすこと。
 - 5-1 凝固モードと切開モードで色分けされたペダルにより目的とするモードで電気手術器具が作動可能であること。
 - 5-2 イリゲーターは凝固スイッチを作動させることで、使用可能であること。
- 6.専用カートは、以下の要件を満たすこと。
 - 6-1 電気手術器本体が搭載可能であること。
 - 6-2 固定可能なキャスターを有すること。

Ⅲ その他

(機能、性能以外に関する要件)

- 1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
 - 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
 - 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
 - 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
 - 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
 - 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪府中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。

- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、
当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No04 気管支ビデオスコープ

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1 気管支ビデオスコープ

1 本

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 気管支ビデオスコープは、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 操作部に4つのスコープスイッチを有し、フリーズ、リリース、周辺装置のリモート操作が可能であること。
- 1-2 挿入部回転機能を有すること。
- 1-3 鉗子チャンネル径が2.0mm以下であること。
- 1-4 先端部外径が4.2mm以下であること。
- 1-5 UPアングルの角度が210° 以上であること。
- 1-6 当センターで所有する内視鏡システムと接続が可能であること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。

1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。

1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。

2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。

2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。

4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪府中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。

7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。

7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。

7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。

- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No05 超音波画像診断装置

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	超音波画像診断装置 本体	1	台
1-2	パームコントローラー	1	個
1-3	バッテリーパック	1	個
1-4	Superb Micro-vascular Imaging キット	1	個
1-5	Liver Package Basic キット	1	個
1-6	Auto EF Measurement キット	1	個
1-7	2D Wall Motion Tracking キット	1	個
1-8	Quick Strain キット	1	個
1-9	薄型コンベックスプローブ	1	個
1-10	高周波リニアプローブ	1	個
1-11	セクタプローブ	1	個
1-12	ゼリーウォーマ	1	個
1-13	バーコードリーダー	1	個
1-14	デジタル白黒プリンタ	1	個
1-15	ネットワーク接続費用	1	式

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 超音波診断装置本体は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 超音波装置本体は、起動時間約60秒。スタンバイからは30秒の起動であること。
- 1-2 トラックボール周りに輝度調整ダイヤルを有すること。
- 1-3 バッテリーの搭載が可能であり駆動時間は約2時間を有すること。
- 1-4 微細で低速な血流を捉える血流イメージグを持ち合わせ、白黒モードとカラーモードをワンタッチで切り替えが可能であること。
- 1-5 脂肪減衰・肝硬度を測定できること。肝硬度測定においては、Propagation表示（せん断波表示）が可能であること。

- 1-6 ボタン1つ押せば、自動でEF計測を実施する機能を有し、同時にGLS値も算出可能であること。
- 1-7 局所の壁運動解析を実施できるTracking機能を有すること。
- 1-8 解析断面を自動選択し、3断面を同時に解析して結果を表示するため、効率的な解析をサポートします。各断面の解析結果とポーターマップを1つの画面に並べて表示できる機能を有すること。
- 1-9 1～8MHzの単結晶コンベックスプローブを有すること。また、厚みは9mm幅であること。
- 1-10 4～12MHzの高周波リニアプローブを有すること。視野幅は48mm以上あること。
- 1-11 1～6MHzの単結晶セクタプローブを有すること。
- 1-12 本体一体型であるゼリーウォーマを有すること。
- 1-13 患者IDを読み取ることができるバーコードリーダーを有すること。
- 1-14 本体から直接プリントアウトできる白黒プリンタを有すること。
- 1-15 ネットワーク接続費用を含むこと。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中心区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No06 PCAポンプ

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	PCAポンプ	3	台
1-2	キャリングポーチ	3	個
1-3	汎用輸液ポンプ解析ソフト	1	式

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. PCAポンプは、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 外形寸法は、130mm×105mm×45mm以下であること。
- 1-2 本体重量は、600g以下であること。
- 1-3 直流電源：6V（単三形アルカリ乾電池×4本）もしくは3.7V（充電式バッテリーパック）にて駆動すること。
- 1-4 単三アルカリ電池を使用しながら約1週間使用が可能(4mL/h)であること。
- 1-5 薬液充填されたカセットは直接機器本体に取り付けられ専用鍵によってのみ取り外し可能なこと。
- 1-6 機器本体には暗証コードを用いたロック機能を有していること。流量、ドーズ量などの設定値変更を制限可能なこと。
- 1-7 薬液投与履歴、アラームなど機器本体ディスプレイ上で確認可能なこと。
- 1-8 機器本体の薬液投与における性能・機能は、以下の要件を満たすこと。
 - 1-8-1 投与予定量は、0～9999mLであること。
 - 1-8-2 持続投与速度は、0～100mL／時間（mg又はμg相当量）であること。
 - 1-8-3 薬液濃度は、0.1～100mg／mL又は1～500μg／mLであること。
 - 1-8-4 追加投与量は、0～50mL（mg又はμg相当量）であること。
 - 1-8-5 時間当たりの総投与量制限は、1～12時間につき0.1～1900mLであること。
 - 1-8-6 随時投与量は、0～50mL（mg又はμg相当量）であること。

- 1-8-7 薬液投与速度は、40～250mL／時間 であること
- 1-9 機器本体の性能については、以下の要件を満たすこと。
- 1-9-1 気泡検出の低感度設定時は、0.400mL以上であること。
- 1-9-2 気泡検出の高感度設定時は、0.150mL以上であること。
- 1-9-3 閉塞検出の高感度設定は、下流閉塞圧が 124.1 ± 62.1 kPaであること。
- 1-9-4 閉塞検出の低感度設定は、2 秒間の下流閉塞圧が 124.1 ± 62.1 kPaであること。
- 1-9-5 アラーム機能を有し、アラームと共にポンプが停止すること。
- 1-9-6 各種アラームが機器本体ディスプレイで確認可能であること。
- 2. キャリングポーチは、以下の要件を満たすこと。
- 2-1 機器本体に50ml、100ml、250mlの薬液カセット装着した状態で格納可能であること。
- 2-2 機器本体に50ml、100ml、250mlの薬液カセット装着した状態でディスプレイを確認することが可能であること。
- 3. 汎用輸液ポンプ解析ソフトは、以下の要件を満たすこと。
- 3-1 汎用輸液ポンプ 患者管理無痛法用輸液ポンプ使用する際、患者毎のプログラムを管理する機能を有し、投与速度等のリミッターを設定可能であること。
- 3-2 治療後、薬液の投与に関するデータを読み込むことが可能であること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

- 1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。
- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。
- 2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪府中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No07 ラピッド・インフューザー

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	ラピッド・インフューザー	1	台
1-2	専用IVポール&スタンド	1	式

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. ラピッド・インフューザーは、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 電磁誘導ヒーターを有すること。
- 1-2 タッチ式スクリーンディスプレイを有し、輸液ポンプの操作と患者への注入状況(注入流速、累積流入量、加温後の輸液・輸血の温度、輸液ライン内圧)をリアルタイムでモニタリングする機能を有すること。
- 1-3 注入流速は、2.5mL/分～750mL/分の範囲を満たし、速度変更ができる機能を有すること。
- 1-4 4℃の輸血や輸液使用時に、流量速度 $\geq 60\text{mL/分}$ で $37.5 \pm 1.0^\circ\text{C}$ 以上、流量速度 $\leq 50\text{mL/分}$ で $39.0 \pm 2.0^\circ\text{C}$ 以上の加温性能を有すること。
- 1-5 オートプライミング機能を有すること。
- 1-6 ボーラス投与機能を有すること。
- 1-7 加温後に輸血より発生するアウトガスをトラップし、除去する機能を有すること。
- 1-8 異常加温を検知する機能を有すること。
- 1-9 輸液ライン内圧の上昇を防止する機能を有すること。
- 1-10 輸液ラインや輸液切れによるエア混入、異常加温、輸液ライン内圧の過上昇等のアラーム発報時に、輸液ポンプ及びヒーターが停止し、患者ラインを閉鎖する安全機能を有すること。
- 1-11 輸液ポンプのステータス、アラーム、アラームに対するインストラクションを1-2のタッチ式スクリーンディスプレイに表示する機能を有すること。

1-12 満充電時において、30分以上の連続投与が可能な充電式バッテリーを有すること。

2.専用IVポール&スタンド

2-1 本体を設置し、移動できるキャスター付きポールスタンドであること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。

1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。

1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。

1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。

1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。

1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。

2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。

2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。

4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中心区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No08 高周波手術装置

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	高周波手術装置	2	台
	ワークステーションカート	2	台
	ワイヤーバスケット	2	個
	スタンダードレール260mm	2	個
	固定具	2	個
	1ペダルスイッチ	2	個
	2ペダルスイッチ	2	個

以上、搬入・据付・調整を含む。

II .技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりであり、本仕様書に定める内容を満足させなければならない。

III 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1.高周波手術装置は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 全てのモードは、電圧を一定に維持し、かつ組織状況に応じ出力を自動的に調整する機能を有すること。
- 1-2 組織効果の再現性を高めるため、毎秒25,000,000回(以上)メス先で抵抗を計測する機能を有すること。
- 1-3 手術領域に適合した切開・凝固モードを18種類以上有すること。
- 1-4 電弧の強度を一定に自動的に維持するモノポーラ切開モードを有すること。
- 1-5 組織の状態に合わせてモジュレーションをダイナミックに調整するモードを有すること。
- 1-6 200Vp以下のバイポーラおよびモノポーラ凝固モードを有すること。
- 1-7 切開と凝固フェーズをインターバルで繰り返す切開モードを有すること。
- 1-8 簡便な操作が可能となるよう設定変更はエフェクト設定のみで調整可能であること。
- 1-9 安全性を高めるため装置に内蔵されている対極板安全システムは、2面型対極板接続時において、接触状態と対極板の装着方向の両方を監視可能であること。

- 1-10 様々な術式により異なった設定ができるよう最大300個(以上)のプログラム保存が可能であり、一つのプログラムに最大6個までのサブプログラムの作成が可能であること。
- 1-11 デバイス認識機能によりデバイスを接続するとディスプレイにアイコン表示される機能を有すること。
- 1-12 デバイス誤接続を防止するため、プログラムされた設定を基に接続すべきソケットを提示する機能を有すること。
- 1-13 専用のサポートソフトを利用して、Wifi通信によりプログラムの作成、更新、エラー解析が可能であること。
- 1-14 視認性と操作性を良くするため10.4インチ以上のタッチスクリーンディスプレイを有すること。
- 1-15 日本語表示を含む多言語表示が可能であること。
- 1-16 手技の必要性に応じて最大で3つのアクセサリを同時に接続することが可能であること。
- 1-17 器具を装着するソケットを必要に応じて本体を開けることなく交換が可能であること。
- 1-18 アルゴンプラズマ凝固装置が接続可能であること。
- 1-19 本体をアップグレードすることで、装置を買い足すことなくソフトウェアの変更、新しい技術の導入が可能であること。
- 2.1ペダルスイッチは、以下の要件を満たすこと。
 - 2-1 設定を切り替えるための機能を有すること。
 - 2-2 防水規格がIPX8以上であること。
- 3.2ペダルスイッチは、以下の要件を満たすこと。
 - 3-1 設定を切り替えるための機能を有すること。
 - 3-2 防水規格がIPX8以上であること。
- 4.ワークステーションカートは、以下の要件を満たすこと。
 - 4-1 ディスプレイが見やすいように傾けられた設計であること。
 - 4-2 本体と連動可能な排煙装置が搭載可能であること。

IV その他

(機能、性能以外に関する要件)

- 1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
 - 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
 - 1-3 仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。

1-4 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。

1-5 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。

2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。

2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。

4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中心区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。

7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。

7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。

7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。

- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No09 3次元画像解析システム

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	サーバー	1	台
1-2	3Dワークステーション	1	台
1-3	開頭シミュレータ/テンソル解析	1	式
1-4	脳区域解析機能	1	式
1-5	+肺脱気機能(肺切除解析用)	1	式
1-6	肺換気解析機能	1	式
1-7	脾臓解析機能	1	式
1-8	直腸解析機能	1	式
1-9	腎臓解析機能	1	式
1-10	嚢胞腎解析機能	1	式
1-11	前立腺解析機能	1	式
1-12	サーフェス表示機能	1	式
1-13	脳脊髄液腔解析機能	1	式
1-14	パッケージ機能	1	式
	冠動脈解析(CT)、心機能解析(CT)、石灰化スコア、心臓フュージョン、ADC Map、パフュージョン(CT)、パフュージョン(MRI)、肝臓解析(CT)、肺解析、核医学、核医学ビューワ、画像合成、仮想超音波、IVIM Map、4Dパフュージョン、歯科解析、気管支鏡シミュレータ、肺切除解析、冠動脈解析(MRI)、心機能解析(MRI)、心筋パフュージョン(MRI)、遅延造影解析(MRI)、肝臓解析(MRI)、腹部解析(3D)、大腸解析		
1-15	サーバーライセンス	1	式

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. サーバーは、次の条件を満たすこと。

- 1-1 CPUはインテル社製Intel Xeon dual相当以上を有すること。

- 1-2 メモリ容量は128GB以上を実装すること。
- 1-3 OSはWindows Server 2022 Standard Edition 64bit相当以上であること。
- 1-4 画像保存容量として1.3TB以上を有すること。
- 2.3Dワークステーションは、次の条件を満たすこと。
- 2-1 CPUはインテル社製intel Corei5 13500相当以上を有すること。
- 2-2 本体メモリ容量は8GB以上であること。
- 2-3 ライセンスの追加なしにすべてのクライアントで3D処理及び解析作業が可能であること。
- 2-4 電子カルテユーザー情報から起動ユーザー連携を想定とした仕様を構築し、実装すること。
- 3.3D画像処理において次の条件を満たすこと。
- 3-1 外部のDICOM機器からの画像入力、出力、他のDICOM機器内の画像データの検索、取得が可能であること。
- 3-2 study、seriesレベルでの一覧表示が可能であり、患者氏名、患者ID、モダリティ、検査部位での検索機能を有すること。
- 3-3 表示した2D,3D画像をJPEG、Bitmap、PNG、DICOM、AVI、MPEG、MP4、WMVの形式で保存が可能であること。
- 3-4 操作とリンクしたオンラインヘルプ機能を有し、文書内及びページ内検索両方が可能であること。
- 3-5 VR、SSD、MIP、MINIP、レイサム、SMIP、仮想内視鏡表示、CPR表示が可能であること。
- 3-6 表示されている3DVRやMPRカラーに対しカテゴリ内のすべてのテンプレートプレビュー表示し一覧で表示可能な機能を有すること。
- 3-7 断面、視線、球体等での表示範囲クリップ機能を有し、その表示範囲の抽出・削除が可能であること。
- 3-8 骨除去、肝臓抽出、骨抽出、骨頭分離がワンクリックで可能な機能を有すること。
- 3-9 MPR作成時、同時に8シリーズ以上読み込み、全て同じ位置、方向でMPRを作成することが可能であること。
- 3-10 読み込んだ画像の信号値に合わせたオパシティカーブを自動で設定する機能を有すること。
- 3-11 3D画像の処理を現在作業中のものを終了することなく、並列で5個以上可能であること。
- 3-12 マスクの同時表示は10個以上可能であること。
- 4.核医学画像とCT画像のフュージョンに特化したビューアアプリケーションソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
- 4-1 自動での位置合わせ機能を有すること。
- 4-2 手動での位置合わせ(平行移動及び回転)機能を有すること。

- 4-3 SUVの測定が可能であること。
- 5.複数シリーズとして広範囲に撮影された画像をつなぎ合わせて1枚の画像として再構成するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 5-1 各シリーズごとに信号値変換(濃度調整)が可能であること。
 - 5-2 自動及び手動での位置合わせ機能を有すること。
 - 5-3 5シリーズ以上合成可能であること。
 - 5-4 重なる部分の処理方法は、最大値または平均値で設定可能であること。
- 6.頭部CTパフュージョン解析ソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 6-1 同一断面内の時間軸方向の画像に対して自動位置合わせ機能を有すること。
 - 6-2 動脈・静脈の位置を自動で検出、または手動で設定可能であること。
 - 6-3 CBV/MTT/CBF/TTP/Tmaxの算出及びカラーマップ表示が可能であること。
 - 6-4 ROIをテンプレートとして保存し、自動で設定が可能であること。
- 7.頭部MRパフュージョン解析ソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 7-1 動脈・静脈の位置を自動で検出、または手動で設定可能であること。
 - 7-2 CBV/MTT/CBF/TTP/Tmaxの算出及びカラーマップ表示が可能であること。
 - 7-3 ROIをテンプレートとして保存し、自動で設定が可能であること。
 - 7-4 ADCマップ、DWI画像との比較観察することが可能であること。
- 8.3Dでの頭部CTパフュージョン解析ソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 1-8-1 同一断面内の時間軸方向の画像に対して自動位置合わせ機能を有すること。
 - 1-8-2 動脈・静脈の位置を自動で検出、または手動で設定可能であること。
 - 1-8-3 CBV/MTT/CBF/TTP/Tmaxの算出及びカラーマップ表示が可能であること。
 - 1-8-4 ノイズ除去をかけるフィルタの設定が可能であること。
- 9.歯列に沿った画像の表示をおこなうソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 9-1 パノラマ像の前後複数枚表示が可能であること。
 - 9-2 クリックすると同時に歯槽骨断面の表示が可能であること。
 - 9-3 仮想的なインプラント、下顎管の表示、マージンの設定が可能であること。
 - 9-4 作成した歯槽骨断面、パノラマ画像をすべて一度にDICOM保存する機能を有すること。
- 10.IVIMの各パラメータを計算するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 10-1 DWI画像読み込みと同時にADC、eADC、D、D*、fマップの表示が可能であること。

- 10-2 DWI画像以外の画像を読み込むことで各マップと重ね合わせが可能であること。
- 10-3 ROIをとることでADCとD、D*、fによる計算結果を比較するためのグラフを表示する機能を有すること。
- 11.心臓CTにおける冠動脈解析ソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 11-1 自動または手動による心臓抽出、冠動脈抽出が可能であること。
 - 11-2 各冠動脈の輪郭は、外径と同時に石灰化をはずした内径を自動表示する機能を有すること。
 - 11-3 冠動脈をVR画像、SMIP、アンギオでの表示、大動脈の表示非表示を変更可能であること。
 - 11-4 同一患者IDのXA画像の表示、3D表示向きの連動が可能であること。
 - 11-5 抽出した冠動脈枝の支配領域を計算する機能を有し、それをブルズアイ表示が可能であること。
 - 11-6 冠動脈解析ソフトを起動する際に、多フェーズの画像を選択した場合はいつでもフェーズを変更して解析が可能であること。
 - 11-7 作成した冠動脈の心臓3Dの表面に核医学の画像をマッピングすることが可能であること。
 - 11-8 核医学画像を用いた際はstress、rest間の各種計算した結果のマッピング、ブルズアイ表示が可能であること。
 - 11-9 核医学の結果のブルズアイは、冠動脈領域、冠動脈支配領域を切り替え表示可能であること。
- 12.CT心臓シネ画像を用いて心機能を解析するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 12-1 自動または手動による心臓抽出機能を有すること。
 - 12-2 2腔、4腔、大動脈弁、を一覧表示が可能であること。
 - 12-3 短軸、長軸両方向から輪郭の修正が可能であること。
 - 12-4 心室輪郭の表面に各ブルズアイをマッピングして3Dのサーフェス表示が可能であること。
 - 12-5 心機能の評価に用いた画像を用いて、引き続き冠動脈解析を行うソフトが起動可能であること。
- 13.石灰化スコアを算出するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 13-1 自動または手動による心臓抽出機能を有すること。
 - 13-2 血管ごとのプラーク数、体積(面積)、Agatstonスコア、平均CT値、最大CT値の算出が可能であること。
 - 13-3 3D画像上で石灰化の指定が可能であること。
- 14.心臓MRにおける冠動脈解析ソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 14-1 自動または手動による心臓抽出、冠動脈抽出が可能であること。
 - 14-2 冠動脈の中心線、輪郭の編集が可能であること。
 - 14-3 冠動脈をVR画像、SMIP、アンギオでの表示、大動脈の表示非表示を変更可能であること。

- 14-4 同一患者IDのXA画像の表示、3D表示向きの連動が可能であること。
- 15.MR心臓シネ画像を使用して心機能を解析するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 15-1 短軸画像の場合、解析するスライス範囲を設定可能であること。
 - 15-2 心臓中心軸を断面毎に設定可能であること。
 - 15-3 短軸、長軸両方向から輪郭の修正が可能であること。
 - 15-4 心室輪郭の表面に各ブルズアイをマッピングして3Dのサーフェス表示が可能であること。
- 16.MR心臓遅延造影解析ソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 16-1 短軸方向または3Dで撮像された画像での解析が可能であること。
 - 16-2 心筋の輪郭は2スライス間を補間して作成する機能を有すること。
 - 16-3 梗塞領域を3D表示する機能を有すること。
 - 16-4 同一患者の冠動脈3D画像に遅延造影解析のブルズアイをマッピング表示が可能であること。
- 17.MR心筋パフュージョン解析ソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 17-1 呼吸ずれを自動で補正する機能を有すること。
 - 17-2 解析結果として、最大勾配、LV相対最大勾配、ピークまでの時間、LV相対累計増強を安静、負荷時比率が数値として算出可能であり、且つブルズアイ表示機能を有すること。
 - 17-3 計算結果、タイムインテンシティカーブをテキストファイルに保存可能であること。
- 18.肺結節、気管支解析、低吸収域表示、クラスター解析を行うソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 18-1 肺野、肺葉領域を読み込みと同時に抽出が可能であること。
 - 18-2 結節の位置、径または輪郭を指定して、半自動で抽出が可能であること。
 - 18-3 結節ごとの体積、最大CT値、平均CT値、標準偏差の各値、ヒストグラムの表示が可能であること。
 - 18-4 気管支が占有する肺野領域を自動抽出する機能を有すること。
 - 18-5 2Dまたは3Dでのクラスター解析機能を有すること。
- 19.肺のボリューム計測を行うソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 19-1 造影CT画像を用いて肺動静脈を自動で分離・抽出する機能を有すること。
 - 19-2 腫瘍の位置、径または輪郭を指定して、半自動で抽出が可能であること。
 - 19-3 肺動静脈及び気管支に対して指定した肺野領域を自動で抽出する機能を有すること。
 - 19-4 3D画像に領域断面のMPRを貼り付けて表示する機能を有すること。
 - 19-5 作成した3D画像のマスクを3Dビューアに移動して引き続き使用可能であること。

20.肺結節、気管支解析、低吸収域表示、クラスター解析を行うソフトを有し、以下の要件を満たすこと。

- 20-1 肺野、肺葉領域を読み込みと同時に抽出が可能であること。
- 20-2 結節の位置、径または輪郭を指定して、半自動で抽出が可能であること。
- 20-3 結節ごとの体積、最大CT値、平均CT値、標準偏差の各値、ヒストグラムの表示が可能であること。
- 20-4 気管支が占有する肺野領域を自動抽出する機能を有すること。
- 20-5 2Dまたは3Dでのクラスター解析機能を有すること。

21.肝臓のボリューム計測をするソフトを有し、以下の要件を満たすこと。

- 21-1 1フェーズのみで肝臓を自動で抽出する機能を有すること。
- 21-2 動脈、門脈、静脈は自動で抽出が可能であること。
- 21-3 領域の指定は15以上可能であること。
- 21-4 血管に対して抽出した領域の色を表示する機能を有すること。

22.CT画像から大腸を抽出し、観察するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。

- 22-1 大腸を自動で抽出する機能を有すること。
- 22-2 抽出された大腸内を通る経路を自動で作成可能であること。
- 22-3 仮想内視鏡表示、展開ビュー、ストレートビュー、キューブビュー各表示が可能であること。
- 22-4 内視鏡と各展開表示に対して、壁から厚みをつけたデプスMIP表示が可能であること。
- 22-5 ルーペ観察(観察位置を中心として任意の方向から観察する機能)が可能であること。

23.腹部CT画像を用いて脂肪の体積を計測をするソフトを有し、以下の要件を満たすこと。

- 23-1 画像読み込みと同時に解析範囲を自動で設定する機能を有すること。
- 23-2 内臓脂肪、皮下脂肪の体積、割合を算出することが可能であること。
- 23-3 指定した範囲の大腰筋の体積を算出することが可能であること。

24.CTまたはMRの画像から仮想的な超音波画像を作成するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。

- 24-1 仮想超音波画像とオリジナル画像の各3断面の位置がリンクする機能を有すること。
- 24-2 オリジナル画像から作成した3D画像は操作対象や体表等切り替えが可能であること。
- 24-3 プローブの形状がコンベックスとリニアを選択することが可能であること。
- 24-4 体表からの刺入点の距離及び角度の計測が可能であること。

25.心臓フュージョンのソフトを有し、以下の要件を満たすこと。

- 25-1 作成した冠動脈の心臓3Dの表面に核医学の画像をマッピングすることが可能であること。

- 25-2 核医学画像を用いた際はstress、rest間の各種計算した結果のマッピング、ブルズアイ表示が可能であること。
- 25-3 核医学の結果のブルズアイは、冠動脈領域、冠動脈支配領域を切り替え表示可能であること。
- 26.頭部CT/MR画像等を使用して開頭シミュレーションをおこなうソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 26-1 MRの画像を使用して神経線維の可視化が可能であること。
 - 26-2 ROIを移動すると追従してリアルタイムに線維を抽出する機能を有すること。
 - 26-3 1で作成した画像とCT画像との3Dでの重ね合わせが可能であること。
 - 26-4 皮膚、骨の順番に切開した、術前シミュレーションが可能であること。
- 27.吸気/呼気2つのCT画像から低吸収域を表示し、換気機能を解析するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 27-1 自動で肺野抽出、5葉分離が可能であること。
 - 27-2 吸気、呼気の2種類の画像の低吸収域の差分表示が可能であること。
 - 27-3 肺領域内に解析値をマッピング表示可能であること。
- 28.腎臓部分切除術シミュレーションをおこなうソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 17-1 自動で腎臓の皮質、髓質の分離が可能であること。
 - 17-2 複数フェーズを読み込んだ場合位置あわせをおこなうことが可能であること。
 - 17-3 動脈、静脈、腫瘍、大腰筋を自動で抽出可能であること。
 - 17-4 指定した血管に対する支配領域の抽出が自動で可能であること。
 - 17-5 3D画像に抽出した領域の断面のMPRを貼り付けて表示が可能であること。
- 29.嚢胞腎の体積評価をおこなうソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 29-1 画像読み込みと同時に腎臓全体を自動抽出することが可能であること。
 - 29-2 左右別々に体積表示することが可能であること。
 - 29-3 過去データがある場合、比較観察が可能であり、増大率を自動で計算し表示が可能であること。
 - 29-4 比較観察時は体積変化率のグラフを表示することが可能であること。
- 30.STLファイル出力に対応しており、以下の要件を満たすこと。
 - 30-1 設定した閾値の領域をサーフェス表示可能であること。
 - 30-2 1のデータをSTLファイルに出力可能であること。
- 31.MRIで撮像した前立腺画像を元にROI解析、レポートを作成するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 31-1 T1強調、T2強調、拡散強調、ダイナミック画像を読み込み解析可能であること。

- 31-2 ダイナミック画像でROIを設定し、カーブの表示が可能であること。
- 31-3 PI-RADS version2及び2.1に準拠したレポートの作成が可能であること。
- 32.MRI画像の頭部3D画像から脳区域を抽出するソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 32-1 脳区域を自動で抽出することが可能であること。
 - 32-2 各脳区域体積の経時変化の観察が可能であること。
- 33.脾臓の術前シミュレーションが可能なソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 33-1 複数フェーズ読み込んだ場合は、自動または手動で位置合わせが可能であること。
 - 33-2 脾臓、門脈、腎静脈、脾管の各領域を自動で抽出可能であること。
 - 33-3 脾臓の離断面表示が可能であること。
- 34.直腸の切除シミュレーションが可能なソフトを有し、以下の要件を満たすこと。
 - 34-1 MRI画像から骨盤・直腸・動脈・静脈の各領域を自動で抽出可能であること。
 - 34-2 抽出した臓器を3D表示で観察し、サーフェス表示が可能であること。
 - 34-3 切除面と直腸内関心領域からの距離を表示することが可能であること。
- 35.MRI画像を用いた脳脊髄液空解析を有し、以下の要件を満たすこと。
 - 35-1 画像読み込み後、高位円蓋部、正中のくも膜下腔、シルビウス裂、脳底槽、脳室が自動で抽出可能であること。
 - 35-2 抽出した領域の体積表示が可能であること。
- 36.アレイ社検像システムとのDICOM Storage接続は、以下の要件を満たすこと。
 - 36-1 2号機、3号機、4号機、5号機とDICOM Storage接続を行うこと。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

- 1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
 - 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
 - 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
 - 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
 - 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。

1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

2-1 検収引き渡し後 1 年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。

2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。

2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。

4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを 1 部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8 年 3 月 31 日

6. 設置場所

大阪市中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。

7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。

7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。

7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。

7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。

- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No10 HDカメラヘッド

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	HDカメラヘッド	1	台
1-2	滅菌トレー	1	個

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. HDカメラヘッドは、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 外形寸法は、ヘッド部 $\phi 26 \times 83\text{mm}$ 以下、ケーブル部 $\phi 3.3\text{mm} \times 3.5\text{m}$ であること。
- 1-2 本体重量は、ヘッド部65g、リモート操作部20g以下であること。
- 1-3 洗浄・消毒は洗浄、浸漬消毒可能なこと。滅菌はエチレンオキシドガス滅菌が可能なこと。

2. 滅菌トレーは、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 内寸は $387 \times 244 \times 51\text{mm}$ 以下、外寸は $410 \times 260 \times 71\text{mm}$ 以下であること。
- 2-2 プラズマ滅菌・オートクレーブ滅菌・EOG滅菌・過酸化水素滅菌（STERIS社）に滅菌対応していること。
- 2-3 OLYMPUS：CH-S190-08-LB-J・CH-S200-08-LB-Jが収容可能なこと。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。

- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後 1 年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを 1 部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8 年 3 月 31 日

6. 設置場所

大阪市中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。

- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No11 血液浄化装置

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1 血液浄化装置(新古品) 1 台

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 血液浄化装置は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 下記の血液浄化療法に対応していること。
持続緩徐式血液濾過透析(CHDF)、持続緩徐式血液濾過(CHF)、持続緩徐式血液透析(CHD)、血漿交換(PE)、血液吸着(DHP)、限外濾過(ECUM)、
- 1-2 対話型タッチスクリーンを有すること。
- 1-3 装置治療モードと装着膜、回路の組み合わせをバーコードで認識し間違いを防止する機能を有すること。
- 1-4 ろ過器と回路は一体式の構造であること。
- 1-5 自動調整機能付きシリンジアセンブリを有すること。
- 1-6 液漏れ検知センサー付きドリップトレイを有すること。
- 1-7 ろ液回路と排液バッグは閉鎖型であること。
- 1-8 血液と空気の接触を最小限にし、定期的な圧力計の自動校正を行い、安定した圧力のモニタリングが可能であること。
- 1-9 体液バランスに誤差が生じた場合、重量制御にて自動補正をする機能を有すること。
- 1-10 ポンプ設定された流量と重量計によって測定された液バッグの重量変化に基づいて、フィードバック制御機能を有すること。
- 1-11 返血側チャンバーは、回路、膜の抗凝固システムとして施行中のダウンタイムを減らすことが可能であること。
- 1-12 前希釈へ回路を繋ぎ替えることなく切り替え可能で、さらにPBPを用いることで前希釈と後希釈を同時に行うことが可能であること。

- 1-13 スリーブ型加温システムを採用しており、オートラインを用いて血液回路を装填し血液を加温することにより患者の低体温リスクが低減されること。
- 1-14 KDIGOガイドラインに準拠した浄化量の評価が可能であること。
- 1-15 設定条件からろ過率を算出し、血液の過濃縮の評価が可能であること。
- 1-16 経時的な圧損失やTMPがステータス画面に表示され、膜の縦詰り、横詰りを事前に把握することが可能であること。
- 1-17 回路内圧が安定した時点でアラーム範囲を自動で計算し設定する機能を有すること。
- 1-18 回路のセッティングやプライミングを画面表示するガイダンス機能を有すること。
- 1-19 アラーム発生時にトラブルシューティングが表示され、スタッフは感覚的に操作可能であること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

- 1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
 - 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
 - 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
 - 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
 - 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
 - 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。
- 2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。
 - 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
 - 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
 - 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No012 全自動免疫染色装置

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1 全自動免疫染色装置 1 台

以上、搬入・据付・調整を含む。

II.技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりであり、本仕様書に定める内容を満足させなければならない。

III 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1.全自動免疫染色装置は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 IHC(免疫組織染色)、ISH(インサイチュハイブリダイゼーション)を処理する機能を有し、同時進行が可能であること。
- 1-2 HER2DISHを処理する機能を有すること。
- 1-3 IHCのベーキング、脱パラフィン、抗原賦活化から一次抗体分注、発色、核染色までの一連の工程、及びISHの脱パラフィン、熱処理などの前処理からプローブ添加、ハイブリダイゼーション、洗浄、発色、核染色までの一連の工程を自動で処理する機能を有すること。
- 1-4 染色する場所がスライド1枚ずつ個別に分かれており、各染色を個々に開始でき、また個々に追加できる機能を有すること。
- 1-5 1次抗体の分注は自動及び手動分注が同時に運転できる機能を有すること。
- 1-6 1回の染色のスライド処理枚数は30枚以上であり、かつ35種類の以上の試薬により染色する機能を有すること。
- 1-7 スライド表面を37℃～100℃の範囲でスライドごとに温度設定できる機能を有すること。
- 1-8 スライド上の試薬の染色ムラを防止する機能、及びスライド上の標本及び試薬の蒸発を防止する機能を有すること。
- 1-9 試薬をスライド上で均一に反応させるため攪拌機能を有すること。
- 1-10 スライド毎に個別に温度の設定や脱パラフィンや、熱処理の機能を有すること。
- 1-11 3種類以上のコンパニオン診断薬が承認されていること。
- 1-12 廃液を油分とそれ以外に分離する、廃液分離システムが採用されていること。

- 1-13 バッファータンクのセット位置は、バッファータンクごとの名称の表記又は色分けで区別されていること。
- 1-14 耐荷重 3kg 以上のスライド式作業棚を有すること。

IV その他

(機能、性能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-4 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-5 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後 1 年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを 1 部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8 年 3 月 31 日

6. 設置場所

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No13 自動染色装置・自動ガラス封入装置

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	自動染色装置	1	台
1-2	標準薬液容器	6	個
1-3	取手付き薬液容器	3	個
1-4	プリズマ用一括蓋(3個用)	3	個
1-5	プリズマ用一括蓋(4個用)	3	個
1-6	φ38mm用排気ダクト接続アダプタ	1	個
1-7	排気ダクトホースセット(φ38mm)	1	個
1-8	自動ガラス封入装置	1	台

以上、搬入・据付・調整を含む。

II.技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりであり、本仕様書に定める内容を満足させなければならない。

III 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1.自動染色装置は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 外形寸法は、W1,250mm、D713mm、H630mm(制御モニター部含まず)以下であること。
(自動封入装置と連結時の外法寸法W)2000×D)713×H)750mm以下であること)
- 1-2 小型薬液槽選択時にHE染色とパパニコロウ染色を同一配置での処理が可能であること。
- 1-3 染色作業中に異なる染色プログラムを含め、後追い染色が可能であること。
- 1-4 開始槽が1～3槽任意に設定可能であること。
- 1-5 終了槽が1～5槽任意に設定可能であること。
- 1-6 水洗槽が1～4槽任意に設定可能であること。
- 1-7 薬液槽の総数は小型薬液槽選択時に最大44槽以上設置可能であること。
- 1-8 振盪方式は上下振盪方式（速度、回数、振盪幅が設定可能）であること。
- 1-9 水洗はオーバーフロー方式であること。

- 1-10 ディスプレイはカラータッチディスプレイであり、かつ日本語表示であること。
- 1-11 染色終了予測時間が表示可能であること。
- 1-12 モニターに現在処理されているバスケット位置が表示されること。
- 1-13 プログラム登録数は50種類以上設定可能であること。
- 1-14 1プログラム当たり50ステップ以上設定可能であること。
- 1-15 排気処理は活性炭フィルターを通して排気ダクトより排出可能であること。
- 1-16 自動封入装置との連結が可能であること。
- 1-17 自動封入装置と連結時に、染色装置側で封入プログラムが10種類以上統制可能であること。

2.ガラス式自動封入装置、は以下の以下の要件を満たすこと。

- 2-1 本体寸法は装置寸法 W)750×D)620×H)750 mm以内であること。
(自動染色装置と連結時の外法寸法W)2000×D)713×H)750mm以内であること)
- 2-2 染色装置との連結が可能であること。
- 2-3 ディスプレイ表示：表示は日本語カタカナ表示であること。
- 2-4 処理量：1時間 420枚の処理能力を有していること。また封入速度を下げることにより、封入精度を上げることが可能であること。
- 2-5 封入剤：市販品の500ml封入剤ボトルを装置にそのまま使用することが出来ること。封入剂量に関しては10段階（30～120 μ L）に調整可能で検体の種類によって随時調整（リアルタイムジョグダイヤル）が可能であること。
- 2-6 排気処理：有機溶剤により発生する気体ガスを凝縮器と活性炭フィルターによる処理が出来る機能を有していること。また、排気ダクトへの接続が可能であること。
- 2-7 カバーガラス：市販品の各種カバーガラスサイズ(24、25×40、50、60mm)を選択できること。また封入開始時、カバーガラスが少ない場合、無い場合は警報を発し警告メッセージを表示し封入を開始せずカバーガラス不足を未然に防止することが可能であること。
- 2-8 封入済みスライドガラスを最高240枚まで装置内に収納可能であること。

IV その他

（機能、性能以外に関する要件）

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。

- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-4 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-5 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後 1 年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを 1 部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。

- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No14 呼吸機能検査装置

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	呼吸機能検査装置	1	式
1-2	オンライン通信接続	1	式

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 呼吸機能検査装置は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 ボリューム検出方式は、フロー積分方式であること。
- 1-2 ボリューム検出範囲は、 $\pm 10.0\text{L}$ 以内であること。
- 1-3 ボリューム測定精度は、 $\pm 3\%$ 以内または $\pm 0.05\text{L}$ いずれか大きい方であること。
- 1-4 フロー検出方式は、リリー型ニューモタコメータ方式であること。
- 1-5 フロー測定検出範囲は、 $0\sim 16\text{L/s}$ 以内であること。
- 1-6 フロー測定精度は、 $\pm 5\%$ または $\pm 0.2\text{L}$ のいずれか大きい方であること。
- 1-7 フロー抵抗は、 16L/s まで $1.5\text{cmH}_2\text{O/L/s}$ 未満であること。
- 1-8 感染予防の対策として、未使用時にフローセンサーグリップが本体へ収納可能であること。
- 1-9 測定準備、スタート、ストップ機能を有するワイヤレスリモートスイッチを有すること。
- 1-10 インクジェット式カラープリンタを有すること。
- 1-11 メインモニタは23インチワイドTFT液晶モニタであること。
- 1-12 3L校正用シリンジが付属していること。
- 1-13 3L校正シリンジ収納スペース、手動式昇降機能及びキャスター付専用架台を有すること。
- 1-14 電源はAC100V 50/60Hzに対応し、消費電力は、200VA以下であること。
- 1-15 現存の通信システムに対応し、オーダー連携が可能であること。

- 1-16 患者属性取得を行うためのバーコードリーダーを有すること。
- 1-17 検査報告書をPDFもしくはJpegに変換し、指定ディレクトリへ送付すること。
- 1-18 装置本体の寸法は、幅500mm×奥行435mm×高さ670mm以内であること。
- 1-19 装置本体重量は、約13kg以下であること。
- 1-20 測定サポート機能として、測定手技イラスト・音声ナレーションを有し、其々5か国語に対応していること。
- 1-21 測定サポート機能として、5種類のアニメーションを備えていること。またアニメーションには目標値を設定できること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

- 1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。
 - 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
 - 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
 - 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
 - 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
 - 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
 - 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。
- 2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。
 - 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
 - 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
 - 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。
- 3. 検収条件
 - 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No15 電気手術器

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	電気手術器	1 式
1-2	1ペダルフットスイッチ	1 個
1-3	2ペダルフットスイッチ	1 個

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. 電気手術器に関して以下の要件を満たすこと。

- 1-1 1つのモノポーラアクティブ電極と1つのバイポーラ電極が接続でき、交互に出力することが可能であること。
- 1-2 モノポーラ切開と凝固及びバイポーラは個別に出力設定ができ、カラー液晶表示することが可能であること。
- 1-3 切開モードは2段階から選択することが可能であること。
- 1-4 凝固モードにはスプレーモードを有すること。
- 1-5 対極板剥離による熱傷事故を防止する為に対極板接触状態検知モニターを有し、異常発生の際は可視可聴の警報及び出力停止させる安全機能を有すること。
- 1-6 アクセサリー故障などの状態で連続出力が発生した場合でも60秒で自動停止する機能を有すること。
- 1-7 4.3インチのタッチスクリーンを有すること。
- 1-8 カラー液晶タッチパネルで操作することが可能であること。
- 1-9 表示パネルは日本語表記であること。
- 1-10 モード及び出力設定は、メモリー機能を有すること。
- 1-11 不測の事態があった際に直前に使用していた出力設定を素早く呼び出しができるバックアップ機能を有すること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪市中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No16 セルソーター

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	セルソーター本体	1	台
1-2	解析制御用ワークステーション	1	台
1-3	コンプレッサー	1	台

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. セルソーター本体は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 分析速度向上のため、フローセルの自動装填機能を有すること。
- 1-2 多数の研究者が使用するため、光軸調整、液滴調整、サイドストリーム調整及びディレイタイム決定は、自動調整機能を有すること。
- 1-3 取得する細胞によって適切なノズルサイズを選択するため、フローセルのノズルサイズは $70 \pm 5 \mu\text{m}$ 、 $100 \pm 5 \mu\text{m}$ を含む2種類以上から選ぶ機能を有すること。
- 1-4 レーザー光源は $488 \pm 5 \text{nm}$ 、 $561 \pm 5 \text{nm}$ 、 $638 \pm 5 \text{nm}$ の3つの波長のレーザーを有すること。
- 1-5 多種類の細胞を同時回収するため、検出器は、前方散乱光1個以上、側方散乱光1個以上、蛍光検出用8個以上の計10個以上を搭載すること。
- 1-6 多種類の細胞を解析するため、サンプルチューブは、 $0.5 \pm 0.1 \text{ml}$ 、 $1.5 \pm 0.1 \text{ml}$ 、 $5 \pm 1 \text{ml}$ 、 $15 \pm 1 \text{ml}$ に対応すること。
- 1-7 多量のサンプルを回収するため、コレクションチューブは、 $5 \pm 1 \text{ml}$ 、 $15 \pm 1 \text{ml}$ に対応すること。
- 1-8 細胞を1つずつ回収・解析するため、コレクション側は96wellプレート、384wellプレートを使用する機能を有すること。
- 1-9 本体寸法は、横幅600mm以下×奥行600mm以下であること。

2. 解析制御用ワークステーションは、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 OSは、Microsoft社製（日本語版）Windows11相当以上の機能を有すること。

- 2-2 物理容量2TB以上のSSDを有すること。
- 3.コンプレッサーは、以下の要件を満たすこと。
- 3-1 DRY AIRを35L/分以上、吐出圧力0.60MPa以上発生する機能を有すること。
- 3-2 本体寸法は、横幅400mm以下×奥行600mm以下×高さ650mm以下であること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

- 1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。
- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。
- 2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。
- 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。
- 3. 検収条件
- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。
- 4. 職員研修、技術支援
- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。

- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

大阪府中央区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No17 ロータリーミクロトーム

仕 様 書

令和 7年 11月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

I 概要

1. 調達物品名及び構成内訳

(調達物品)

1-1	ロータリーマイクロトーム	1	台
1-2	ユニバーサルカセットクランプ	1	個
1-3	標準試料クランプ	1	個
1-4	ディスプレイザブルブレードキャリアE	1	個

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す技術的要件は当センターが必要とする最低限の要件を示している。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

(機能、性能に関する要件)

1. ロータリーマイクロトームは、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 切片厚設定範囲は0.5～100 μ m であること。
- 1-2 トリミング厚設定範囲は5～500 μ m であること。
- 1-3 40 μ m の試料リトラクション機能を有し、オフにすることも可能であること。
- 1-4 水平方向の送り範囲は28mm 以下であること。
- 1-5 垂直方向のストロークは72mm 以下であること。
- 1-6 液晶ディスプレイにセクションカウンター・切片厚の合計・エンドポジションまでの残距離（ μ m）を表示可能なこと。
- 1-7 試料サイズは55×50mm 程度であること。
- 1-8 X/Y軸 8°、Z軸360° の試料オリエンテーションが可能なこと。
- 1-9 スピードが可変可能な電動の粗動送り方式であること。
- 1-10 ロッキングモードを搭載していること。
- 1-11 包埋カセットをレバーにてワンタッチで固定できる試料ホルダー及び万力型の試料ホルダーの2種類を有すること。
- 1-12 ロープロファイル及びハイプロファイルのブレードを固定できるブレードキャリアを有すること。
- 1-13 外形寸法は、W410mm、D520mm、H280mm以下であること。
- 1-14 本体重量は、27kg以下であること。

III その他

(機能、性能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本装置は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする。
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書について、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。
- 1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。
- 1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

- 2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は無償で修理または取り替えること。
- 2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。
- 2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

- 3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

- 4-1 医師及び技師が操作方法を熟知し、確実に使用が出来るまで受注者が責任を持って研修・技術支援を行うこと。
- 4-2 本装置の日本語による操作マニュアルを1部以上、及びその電子データを提供すること。

5. 納入期限

令和 8年 3月 31日

6. 設置場所

7. その他

- 7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。
- 7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。
- 7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やかに対処すること。
- 7-4 保証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。
- 7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用しないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。
- 7-6 当院指定の様式にて、機器の仕様データ（商品名、製造番号など）を提出すること。
- 7-7 電子カルテなどの病院情報システムに接続予定のある機器については、当院指定のネットワークセキュリティチェックリストを提出すること。

No18 4 K内視鏡システム一式 仕様書

令和 7年 11月
地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター

1 調達物品の概要

4K 内視鏡システム 1式

【内訳】

(1) ビデオシステムセンター	1台
(2) 光源装置	1台
(3) アップグレードパック IR	1式
(4) 4K 対応 32 インチモニタ	2台
(5) モービルワークステーション	1台
(6) モニタースタンド	1台
(7) 4K カメラヘッド	1台
(8) 4K カメラヘッド用トレイ	1台
(9) ライトガイド	1本
(10) 硬性腹腔・胸腔鏡	1本
(11) 滅菌トレイ	1台
(12) 高速気腹装置	1台
(13) 先端湾曲ビデオスコープ1	1本
(14) 先端湾曲ビデオスコープ2	1本
(15) HD カメラヘッド	2台
(16) 腹腔・胸腔ビデオスコープ用トレイ	2台
(17) カメラヘッド、ライトガイド用トレイ	2台
(18) 高周波手術装置	1台
(19) 超音波バイポーラ手術装置	1台
(20) エナジーカート	1台
(21) その他、保守、付属品	1式

2 調達物品に必要な性能

(1) ビデオシステムセンターは、以下の要件を満たすこと。

- ① タッチパネルを採用し、直感的な操作が可能であること。
- ② 内視鏡映像の色相、彩度を調整し、ユーザに合わせて色味の調整が可能であること。
- ③ 特殊光観察(粘膜表層の毛細血管や微細構造の強調表示)が可能であること。
- ④ 12G-SDI の出力端子を有していること。

(2) 光源装置は、以下の要件を満たすこと。

- ① LED 光源が採用されており、赤(R)緑(G)青(B)紫(V)の4色のLEDを搭載していること。
- ② ビデオシステムセンター及び各種ビデオスコープとの組み合わせにより特殊光観察(粘膜表層の毛細血管や微細構造の強調表示)が可能であること。
- ③ 外径寸法は幅 390mm×高さ 165mm×奥行 505mm 以内であること

(3) アップグレードパック IR は、以下の要件を満たすこと。

- ① ビデオシステムセンターのポータルブルメモリーポートを経由しソフトウェアのアップグレードをすることで IR 観察機能の対応を可能とすること。

(4) 4K 対応 32 インチモニタは、以下の要件を満たすこと。

- ① 解像度が 3840×2160 ピクセル以上であること。
- ② クローン出力端子を有していること。
- ③ サイドバイサイド、ラインバイライン、トップ&ボトムの種類 3D 信号に対応していること。

(5) モービルワークステーションは、以下の要件を満たすこと。

- ① モニター位置は水平・上下方向、傾斜角度の調整が可能であること。
- ② 絶縁トランスが搭載されていること。
- ③ 質量は、無積荷、絶縁トランス取り付け時に 85 kg 以下であること。

(6) モニタースタンドは、以下の要件を満たすこと。

- ① 耐荷重 15kg 以下であること。
- ② バルーンアーム式を採用していること。
- ③ 寸法幅 675×高さ 1661.5×奥行 838(mm) 以下であること。

(7) 4K カメラヘッドは、以下の要件を満たすこと。

- ① ヘッド部の質量が 270g 以下であること。
- ② コンティニューアスオートフォーカス機能が搭載されており、オートフォーカスエリアにおいて連続的にフォーカスを合わせ続けることが可能であること。
- ③ IR 観察対応のビデオシステムセンター及び光学視管と接続することにより IR 観察が可能であること。

(8) 4K カメラヘッド用トレイは、以下の要件を満たすこと。

- ① 外寸が幅 410×奥行 260×高さ 96(mm) 以下であること。
- ② 材質がアルミニウムであること。
- ③ オートクレーブ滅菌及び過酸化水素滅菌が可能であること。

(9) ライトガイドは、以下の要件を満たすこと。

- ① 全長は 3m 以上であること。
- ② 質量は 323 g 以下であること。
- ③ オートクレーブ滅菌が可能であること。

(10) 硬性腹腔・胸腔鏡は、以下の要件を満たすこと。

- ① 外径が 5.4mm 以上であること。
- ② 視野方向が 30° であること。
- ③ 有効長が 318mm 以下であること。

(11) 滅菌トレイは、以下の要件を満たすこと。

- ① 幅 450×奥行 90×高さ 50(mm)以下であること。
- ② 硬性鏡 2 本の収納が可能であること。

(12) 高速気腹装置は、以下の要件を満たすこと。

- ① 送気流量を最大で 45L/min に設定することが可能であること。
- ② 腔モード設定機能が搭載されており、小児・後腹膜等の狭い腔内での最適な気腹をサポートできること。
- ③ 自動排煙機能が搭載されており、対応する機器との接続により煙やミストの吸引を自動で行うことが可能であること。

(13) 先端湾曲ビデオスコープ 1 は、以下の要件を満たすこと。

- ① 先端部外径 10 mm以上であること。
- ② 先端部が上下左右 4 方向に湾曲するため腹腔・胸腔内部において幅広い観察範囲を確保できること。
- ③ 深い観察深度(18~100mm)を有しており、ピン調整の手間が軽減されること。

(14) 先端湾曲ビデオスコープ 2 は、以下の要件を満たすこと。

- ① 先端部外径 5.4 mm以下であること。
- ② 先端部が上下左右 4 方向に湾曲するため腹腔・胸腔内部において幅広い観察範囲を確保できること。
- ③ 深い観察深度(18~100mm)を有しており、ピン調整の手間が軽減されること。

(15) HD カメラヘッドは、以下の要件を満たすこと。

- ① HDTV に対応した CCD が搭載されていること。
- ② カメラヘッド部の重量が 90g 以下であること。
- ③ 特殊光観察（粘膜表層の毛細血管や微細構造の強調表示）が可能であること。

(16) 腹腔・胸腔ビデオスコープ用トレイは、以下の要件を満たすこと。

- ① 外寸が幅 615×奥行 300×高さ 96(mm)以下であること。
- ② 材質がアルミニウムであること。
- ③ オートクレーブ滅菌及び過酸化水素滅菌が可能であること。

(17) カメラヘッド、ライトガイド用トレイは、以下の要件を満たすこと。

- ① 外寸が幅 410×奥行 260×高さ 75(mm)以下であること。
- ② 材質がアルミニウムであること。
- ③ オートクレーブ滅菌及び過酸化水素滅菌が可能であること。

(18) 高周波手術装置は、以下の要件を満たすこと。

- ① 全 20 種類のモノポーラ/バイポーラモードを搭載し腹腔鏡下手術、開腹手術、TUR 等の幅広い手技に対応可能であること。
- ② 組織を切開する際、瞬間的に設定を上回る高出力を投入することで切り始めが安定し、引っかかり等の違和感が軽減されるハイパワーカットサポート機能が搭載されていること。
- ③ 対応する高速気腹装置との組み合わせにより、自動排煙機能を使用することが可能であること。

(19) 超音波バイポーラ手術装置は、以下の要件を満たすこと。

- ① 超音波とバイポーラの両方のエネルギーを同時に出力することが可能であること。
- ② フロント操作部へのタッチパネル採用により、術前・術中の操作を簡単に行うことが可能であること。
- ③ 対応する高速気腹装置との組み合わせにより、自動排煙機能を使用することが可能であること。

(20) エナジーカートは、以下の要件を満たすこと。

- ① 幅 515×奥行 620×高さ 1160(mm)以下であること。
- ② 質量は 55kg 以下であること。(空荷時、マルチソケットコンセント付)
- ③ 棚板の最大荷重が 30kg 以下であること。

3 納入期限

令和 8 年 3 月 31 日（火）まで

4 性能・機能以外に関する要件

(1) 設置条件等

- ① センターが用意した 1 次側設備（空調設備、電気設備、給排水設備）以外に必要な設備があれば、受注者の負担において用意すること。
- ② 調達物品の設置に関して、機器の搬入、据付、配管、配線、調整に要する全ての費用は、本調達に含まれる。
- ③ 調達物品の搬入等について、センターの診療業務に支障をきたさないよう、センター職員と協議の上その指示によること。
- ④ 設置工事は、納入予定日、設置予定期間を事前にセンター職員と打合せ、そのスケジュールに従い完了すること。

（２）障害支援体制

- ① 通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。
- ② 年間を通じて連絡ができる体制であり、障害発生通知後速やかに復旧作業を開始できる保守体制であること。
- ③ 調達物品の納入後においても、稼動に必要な消耗品及び故障時に対する交換部品の安定した供給が確保されること。

（３）教育体制等

- ① 取扱説明書は日本語版で１部提供すること。
- ② センター職員に対する導入時教育訓練は、センターが指定する日時、場所で行うこと。
また、納入後１年間は随時対応すること。
- ③ 既設システムとの接続は、事前にセンター職員と打合せ、そのスケジュールに従い完了すること。

（４）保守体制等

- ① 納入後１年間は通常使用における機器トラブル及び様々な外力による破損等については、無償保証及び代替機の貸出が可能であること。
- ② 納入検査確認後１年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。
また、最低５年間は修理部品が用意されていること。

（５）その他

- ① 調達物品は、入札時点で薬機法に定められている製造承認を得ている物品であること
- ② 調達物品は入札時点で製品化されていることを原則とする。
- ③ 納入までの間に、調達物品の仕様変更やソフトウェアのバージョンアップがあった場合には、センターと協議し、最新の製品を納入すること
- ④ 本仕様書に記載のない事項は、その都度協議に基づいて決定すること。

No19 自動免疫染色装置 仕様書

令和 7 年 11 月
地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター

1 調達物品の概要

自動免疫染色装置 2 式

2 調達物品に必要な性能

(1) 4K32 型液晶モニターは以下の要件を満たしていること。

- ① 解像度は 3,840×2,160 ピクセル以上であること。
- ② 輝度は 1750cd/m²以上であること。
- ③ コントラスト比は 1,000,000 : 1 以上であること。
- ④ 入力端子として、12G-SDI、DisplayPort、HDMI、3G-SDI を装備していること。
- ⑤ HDR 対応ガンマ (HLG) 搭載であること
- ⑥ 広色域 BT. 2020 対応であること。
- ⑦ 3D 信号はサイドバイサイド/ラインバイライン/トップ&ボトムに対応していること。
- ⑧ CLONE (クローン) 画面を出力できること。
- ⑨ 重量は 11kg 以下であること。
- ⑩ 既存アームに設置が可能なこと。

(2) SDI 分配器は以下の要件を満たしていること。

- ① 電源のスイッチを設けていること。
- ② 電源ケーブルは抜け止め防止機構が装備されていること。
- ③ ラックマウントが可能なこと。
- ④ 4K信号に対応していること。
- ⑤ 対応規格として SMPTE ST 2082-1 準拠していること。

3 納入期限

令和 8 年 3 月 31 日 (火) まで

4 性能・機能以外に関する要件

(1) 設置条件等

- ① センターが用意した 1 次側設備 (空調設備、電気設備、給排水設備) 以外に必要な設備があれば、受注者の負担において用意すること。
- ② 調達物品の設置に関して、機器の搬入、据付、配管、配線、調整に要する全ての費用は、本調達に含まれる。
- ③ 調達物品の搬入等について、センターの診療業務に支障をきたさないよう、センター職員と協議の上その指示によること。
- ④ 設置工事は、納入予定日、設置予定期間を事前にセンター職員と打合せ、そのスケジュールに従い完了すること。

（２）障害支援体制

- ① 通常の使用で発生した故障の修理及び定期的保守点検を実施できる体制であること。
- ② 年間を通じて連絡ができる体制であり、障害発生通知後速やかに復旧作業を開始できる保守体制であること。
- ③ 調達物品の納入後においても、稼動に必要な消耗品及び故障時に対する交換部品の安定した供給が確保されること。

（３）教育体制等

- ① 取扱説明書は日本語版で１部提供すること。
- ② センター職員に対する導入時教育訓練は、センターが指定する日時、場所で行うこと。
また、納入後１年間は随時対応すること。
- ③ 既設システムとの接続は、事前にセンター職員と打合せ、そのスケジュールに従い完了すること。

（４）保守体制等

- ① 納入後１年間は通常使用における機器トラブル及び様々な外力による破損等については、無償保証及び代替機の貸出が可能であること。
- ② 納入検査確認後１年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。
また、最低５年間は修理部品が用意されていること。

（５）その他

- ① 調達物品は、入札時点で薬事法に定められている製造承認を得ている物品であること。
- ② 調達物品は入札時点で製品化されていることを原則とする。
- ③ 納入までの間に、調達物品の仕様変更やソフトウェアのバージョンアップがあった場合には、センターと協議し、最新の製品を納入すること
- ④ 本仕様書に記載のない事項は、その都度協議に基づいて決定すること。